



チーム まもる・つながる

令和2年度

今年度の活動テーマ

コロナ禍における「今できるチーム活動」の模索と実施

- ・事例検討の実施
- ・リーフレットの配架先の検討

活動内容

第1回チーム会議(9/24)

- ・代表者選出(自閉症児者親の会 大久保氏)
- ・今年度の活動計画
「事例検討会」・・・チーム参加者出題による、チーム参加者間での事例検討
「リーフレット配架先の検討」・・・第3段階の配架先の検討

第2回チーム会議(11/11)

【事例検討会】

- * 海老名市役所市民相談課篠原氏より「自宅にマイナンバーをを求める書類が届いたケース」
- * 自閉症児者親の会大久保氏より「高校卒業後の相談先に悩んでいるケース」
- * たなからぼたもち尾山氏より「大学受験失敗から閉じこもりになった40代のケース」

県央障害保険福祉圏域権利擁護部会連絡会(11/25)

【権利擁護支援が必要な事例についての情報交換と課題の共有】

海老名市役所障がい福祉課郷原氏・事務局(社会福祉協議会石川氏・結夢+栗山)出席。
海老名市からは4事例を報告し、登壇の弁護士より法的支援についての助言を受けた。

第3回チーム会議

1/13実施予定であったが緊急事態宣言発出された為、書面開催で実施。

活動を通じての気づき・成果・行政や地域に向けた提案・次年度に向けてなど



今年度はコロナ禍でのチーム活動は感染拡大防止の為、様々な制約が多くなったことで活動の展開が難しい1年となった。

その中で開催された第2回のチーム会議では、事例検討会を実施。
「地域でどのような困りごとがあり、関係者はどのような提案ができるのか」を事例検討を通してそれぞれの立場から意見を出し合い、有意義な時間を共有することができた。

次年度も引き続き慎重な開催になることが予想されるが、今年度積み残しとなった「リーフレット配架先の検討」と「リーフレット記載機関の情報交換会の実施」を次年度への活動の提案としたい。

